

循環注水冷却スケジュール

作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	1月		2月				3月				4月	5月	備考	
		26	1	6	13	20	27	1	6	13	20	27	1		6
循環注水冷却	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【共通】循環注水冷却中(継続) 【1号】CST原子炉注水設備計装品点検(1/15、1/19) 【2号】CST原子炉注水設備計装品点検(2/17) 【3号】CST原子炉注水設備計装品点検(2/18) 【1号】建屋内滞留水排水設備設置工事に伴う所内共通分電盤3D停止(2/24) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【3号】CST原子炉注水設備計装品点検(2/27) 【2号】CST原子炉注水設備計装品点検(工程調整中) 	<p>【1、2、3号】循環注水冷却(滞留水の再利用)</p> <p>【2、3号】CST原子炉注水設備計装品点検</p> <p>【1号】建屋内滞留水排水設備設置工事に伴う所内共通分電盤3D停止</p> <p>原子炉・格納容器内の崩壊熱評価、温度、水素濃度に応じて、また、作</p> <p>略語の意味 CS：炉心スプレイス FDW：給水系 CST：給水貯蔵タンク RPV：原子炉圧力容器 PCV：原子炉格納容器 TIP：移動式炉心内計測装置</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CST原子炉注水設備計装品点検に伴い、電源アソシレによる待機時間の不得機となる。 ・2号CST原子炉注水設備計装品点検については、作業調整により工程調整中(3月中を予定) ・所内共通分電盤3D停止に伴い、1-2号機CST炉注ポンプ電源アソシレによる待機時間の不得機となる。 	
循環ループ縮小	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環ループ縮小工事に伴う設備の検討・設計・機器手配 ・準備工事 	<p>検討・設計・機器手配</p> <p>準備工事</p> <p>設置工事等</p> <p>設置工事等は実施計画認可に合わせて開始予定 準備工事は設置工事等開始以降も並行して実施</p>	<p>検討・設計・現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋内RO循環設備の設置に係る実施計画変更認可申請(H26.7/28) ・H27年度上期を目標に運用開始予定 	
1号機緊急用原子炉注水点の設置	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器手配 	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>	<p>機器手配</p>
2号機RPV底部温度計修理	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【2号】RPV底部温度計の交換 -温度検出器引抜(モックアップ試験の検討・実施) -現地引抜準備作業(1/8~13) -精除去箱注入(1/14~19) -温度計引抜き(1/19) -内部調査(1/20) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度計挿入モックアップ(2/23~3/6) 温度計設置(3/13) 	<p>挿入工法検討(材料選定)・現地作業準備・習熟訓練</p> <p>ワイヤガイド付温度計製作</p> <p>習熟訓練</p> <p>温度計挿入(含準備)</p> <p>温度計挿入(予備日)</p> <p>進捗反映</p>	<p>検討・設計・現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現地引抜工事の実施時期：1/8~開始(現地準備作業含む) ・温度計挿入予定：3/13 	
海水腐食及び塩分除去対策	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CST室素注入による注水溶存酸素低減(継続) ・ヒドラジン注入開始(H26.8/29~) 	<p>CST室素注入による注水溶存酸素低減</p> <p>ヒドラジン注入開始</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>
室素充填	<p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【1号】サプレッションチャンバへの室素封入 -連続室素封入へ移行(H25.9/9~)(継続) <p>(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【共通】非常用室素ガス分離装置本格点検(2/17~3/2) 【1号】ジェットポンプ計装ラックからの室素封入ライン追設(3月：9期調整中) 	<p>【1、2、3号】原子炉格納容器 室素封入中</p> <p>【1、2、3号】原子炉圧力容器 室素封入中</p> <p>【1号】サプレッションチャンバへの室素封入</p> <p>【共通】非常用室素ガス分離装置本格点検</p> <p>【1号】ジェットポンプ計装ラックからの室素封入ライン追設</p> <p>実施時期調整中</p> <p>準備作業</p> <p>本工事</p>	<p>検討・設計・現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<p>現場作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●非常用室素ガス分離装置本格点検 ・高圧作業(計画的な運転上の制限外への移行)として実施予定(2/17~3/2) ・非常用室素ガス分離装置分電盤点検(H27年度へ移行) ・1号機ジェットポンプ計装ラックからの室素封入ライン追設に伴う実施計画変更認可申請(H27.1/16) 	

2号RPV底部温度計の 再挿入作業概要について

2015年2月26日

東京電力株式会社



東京電力

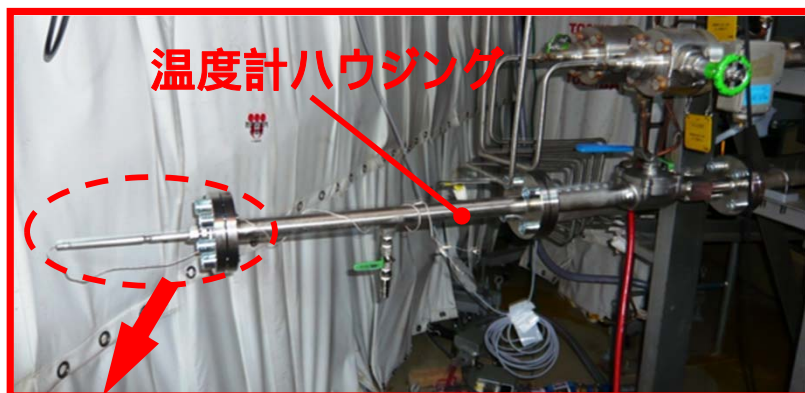
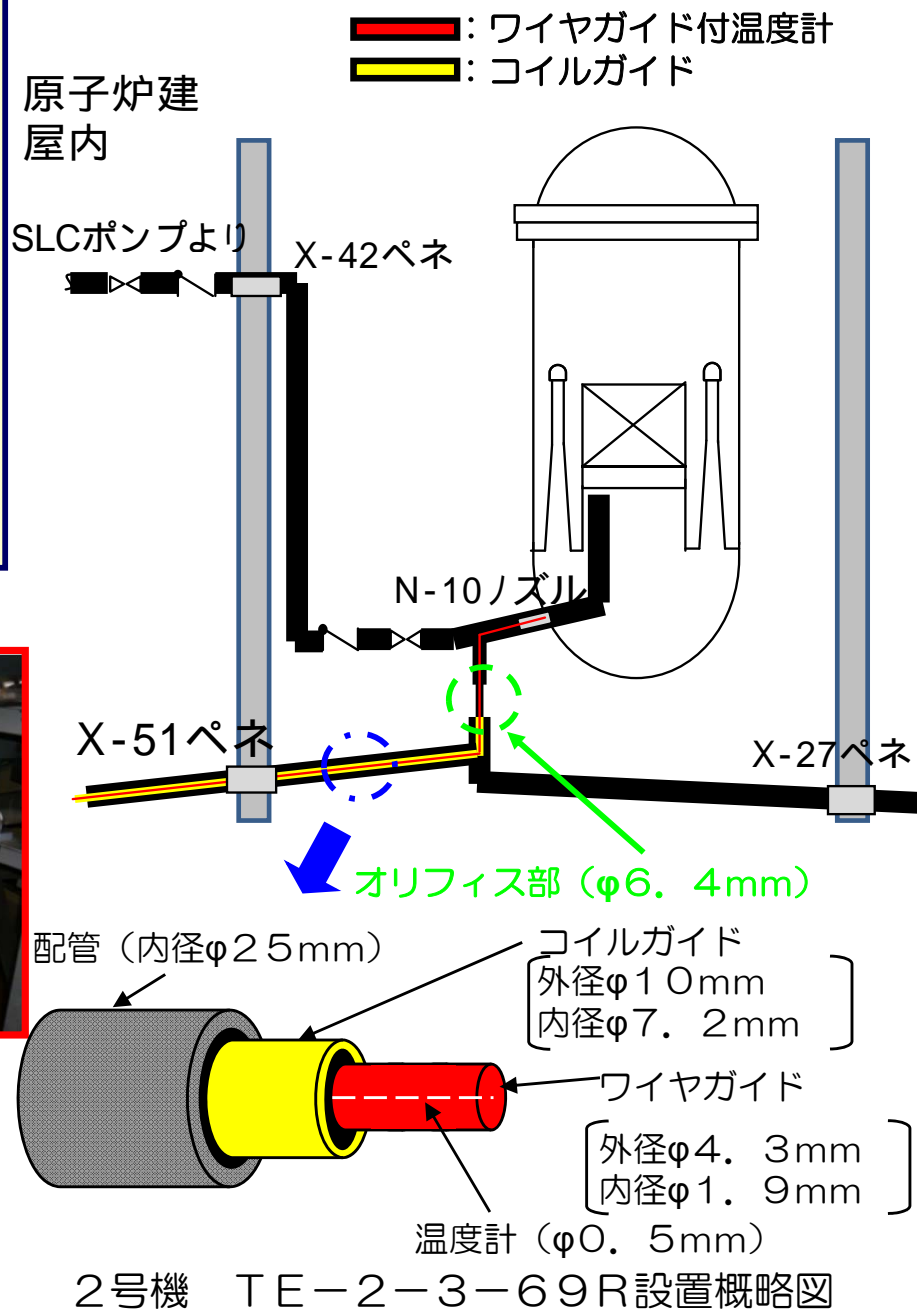
1. 設備概要と作業内容

■設備概要

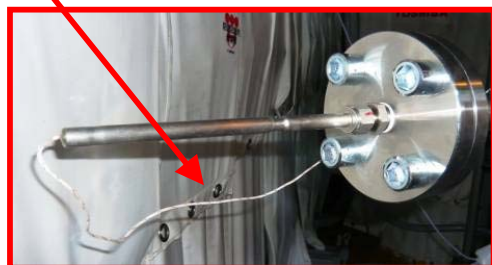
- 既設SLC計装配管を利用して、X-51^h 側からX-27^h 側に繋がるT分岐後のオリフィス部までコイルガイドを挿入し、以降ワイヤガイド(温度計付き)をN-10ノズル付近まで挿入されている。
- 当該温度計は、H26.2.19に故障と判断。
- 錆除去剤注入を行った後、H27.1.19に引き抜き完了。

■作業内容

- 同配管に、新規コイルガイドおよび新規ワイヤガイド(温度計付き)を挿入する。



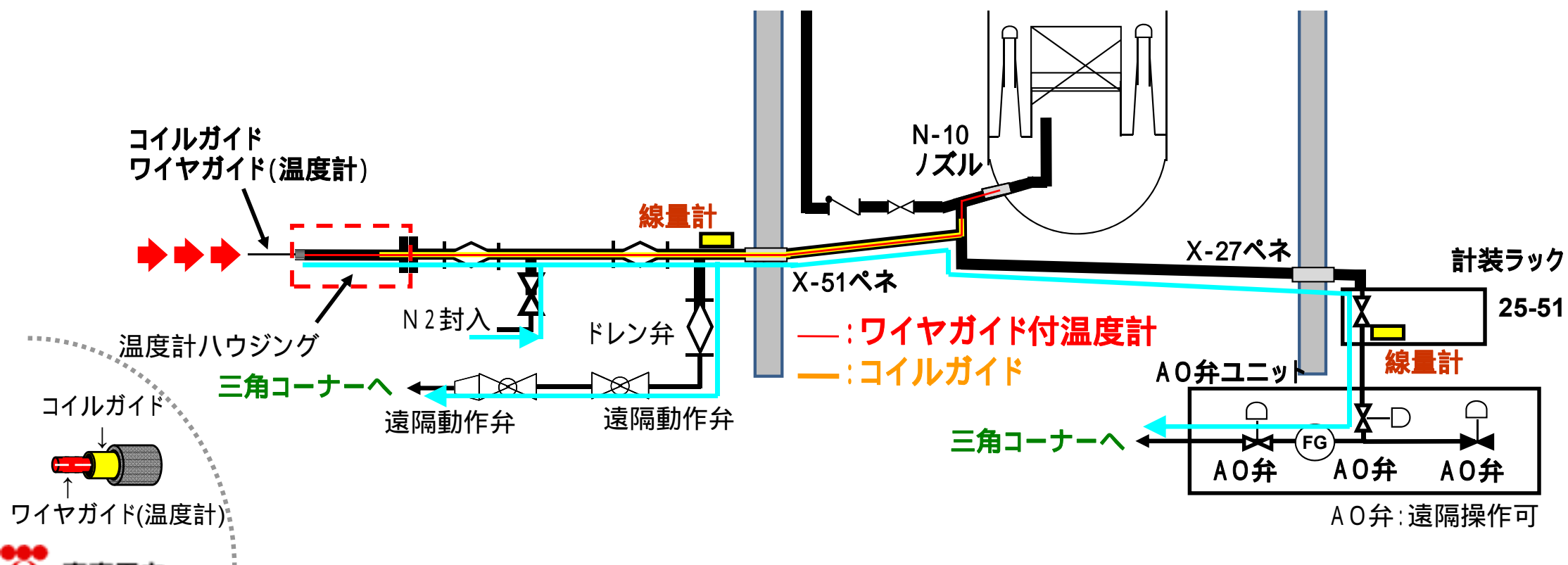
温度計信号線



2. 温度計再挿入作業の概要

■ 温度計再挿入

- X-51ペネより、既設SLC計装配管に新規コイルガイドを挿入する。コイルガイドはオリフィス部まで挿入する。
- コイルガイドの内側に、温度計付きワイヤガイドを挿入する。ワイヤガイドはN-10ノズル部まで挿入する。なお、発錆防止対策として、ワイヤガイドの素材を炭素鋼からSUS304（コイルガイドと同素材）に変更する。
- 温度計挿入時は、故障温度計引き抜き時および内視鏡挿入時と同様に、配管にN2を封入することによりシーリングを行いながら作業を行う。



【参考】 予定工程

作業内容	2月第3週					2月第4週					3月第1週					3月第2週				
	16	17	18	19	20	23	24	25	26	27	2	3	4	5	6	9	10	11	12	13
SUS製ワイヤ ガイド製作・準備 (温度計組込他)																				
挿入モックアップ						HP														
温度計挿入 (付帯作業含む)																				

- 温度計引き抜き後の内視鏡確認では、錆・腐食等は認められていない。
- ワイヤガイド素材変更による挿入性への影響や、設置から相当の時間が経ていること、設置を経験していない作業員も再挿入作業にあたること等から、入念に挿入モックアップを実施する。